


科目	単位 (時間数)	時期	講師名 (職名) (時間数)		
ウィメンズヘルスケア論	1 (30)	1 学期	① 教員 (助産師) (14) ② 院内講師 (医師) (2) ③ 院内講師 (管理栄養士) (6) ④ 院外講師 (看護師) (4) ⑤ 院外講師 (ヨガ講師) (4)		
目標					
助産の対象である母子及びその家族の健康を維持・増進するために必要な要因を理解できる。					
回	時間	項目	授業内容	授業方法	講師
1	2	性の分化と発達 性行動、性の多様性	1) 性の分化と発達 2) 性行動 3) 性の多様性 ・セクシャリティとは ・からだの性とこころの性 ・ジェンダーアイデンティティ ・性の多様性	講義	①
2	2	プレコンセプションケア 生殖に関連した疾患	1) 思春期女性の健康課題とケア ・プレコンセプションケアの概念 ・性教育 2) 成熟期女性の健康問題とケア 子宮内膜症、子宮筋腫、乳がん 子宮がん、卵巣腫瘍	講義	
3	2	女性のライフサイクル各期における健康課題とケア 家族計画	3) 家族計画の意義と考え方 4) 受胎調節の実際 ・避妊法・産後の家族計画と避妊法 *本講義は受胎調節実地指導員認定のための講習を含む。	講義	①
4	2		5) 更年期女性の健康問題とケア 加齢に伴うエストロゲン欠乏症状 更年期女性のヘルスプロモーション 6) 中高年女性の健康問題とケア 尿失禁、骨粗しょう症、更年期障害	講義	
5	2		7) 生殖器疾患をもつ女性のケア 【事例演習】 ①「良性卵巣腫瘍で卵巣腫瘍摘出術を受ける女性」 ・30代未婚女性、ライフヒストリー ・周術期におけるアセスメントとケア ・保健指導案の作成	講義	
6	3		②「がん化学療法を受ける女性」 ・70代女性、ライフヒストリー ・がん化学療法のプロトコルと副作用のアセスメント ・保健指導案	講義	

7	2		1) ジェンダーと女性のライフサイクル 2) 家族のライフサイクル 3) 性差医療と女性外来 ・女性の健康と性差医療 ・女性のライフサイクルと女性外来に求められること	講義	④
8	2		4) 産婦人科における医療者側と利用者側とのいい関係のあり方 【ロールプレイ】 ・相談から見る女性の健康とは ・性暴力・DV 被害者への援助のあり方 ・女性の自己決定とジェンダー	講義	
9	2	母子の歯科保健	1) 歯の構造 2) 胎児期からの歯牙形成 3) 摂食と口腔機能の発達 ・乳児摂食反射・咬反射 ・口腔の発育、摂食機能の発達 4) 口唇・口蓋裂のある子どもの治療 5) 妊娠期の歯科保健 ・つわりやホルモン変動がう蝕と歯周疾患に与える影響 ・歯科受診に適した時期 ・歯周病が妊婦・胎児に与える影響 6) 産後の歯科保健 ・う蝕起因菌の母子間伝達の予防 ・母乳とう蝕	講義	②
10	2	食生活と母子の健康	1) 母子の栄養をめぐる課題と対策 妊娠前の「やせ」、低出生体重児の増加、成人病胎児期発症説 2) 妊産婦・授乳婦の臨床栄養 ・妊婦の食事摂取基準 ・摂取に際して留意すべき食物 ビタミンAの過剰摂取、葉酸、カルシウム、鉄 ・推奨体重増加量 ・妊産婦のための食生活指針 ・授乳婦の食事摂取基準	講義	③
11	2		3) 妊産婦の病態と栄養 ・つわり、肥満 ・糖尿病 ・妊娠高血圧症候群 ・貧血	講義	
12	2		4) 乳幼児の栄養 ・乳児の食事摂取基準 ・授乳・離乳の支援ガイド ・離乳期の栄養 5) 食物アレルギー	講義	
13 14	4	妊産婦の心身トレーニング	マタニティ・ヨガ	講義 演習	⑤
15	1	終講試験 (45分)		試験	①

授業形態	講義、演習
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 (講師① 60点、講師③ 40点) 履修規程第5条、第6条に定めるとおりとする。
テキスト	講師① ・助産学講座2 ・助産学講座5 ・助産師基礎教育テキスト2 講師②③⑤ ・助産学講座3 講師④ ・助産学講座5 ・助産師基礎教育テキスト2
参考図書等	・産婦人科診療ガイドライン 婦人科外来編 2023 
備考	講師の授業時期は並行あるいは前後することがある。